

## 瀬戸内タウンミーティング（長浜地区）

平成 21 年 11 月 5 日（月）19 時～21 時

牛窓町公民館長浜分館 研修室 A

参加者：男性 28 人、女性 6 人、計 34 人

### 市民から出た意見と市長の反応

- ・副市長にこれから何をしたいのか、抱負を聞きたい。

（副市長）前回のタウンミーティングでは「何しに来たの？」という問をいただいた。前の会社を辞めるとき、同僚や友人、家族にも「何しに行くの？」と聞かれた。

元々、40 歳を過ぎたら公の役に立ちたい、と考えていた。やり方はいろいろあるが、日本を元気にするためには地域を変えていかなくてはならない、という思いがあった。東京にいたからこそわかることを活かしてまちを、まちに住む人を元気にしたい。

- ・教育長が来年 4 月からの着任であるが、教育を軽視しているのでは、と思う。2 月から 3 月にかけて教員の人事などがあるが、新しい教育長が関われない。なぜそのような人をお願いすることにしたのか。

（市長）教育は子どもが基本である。子どもにとっては今、一瞬一瞬が大事である。邑久小学校は瀬戸内市の子どもの 3 分の 1 が通う。年の途中で校長先生がいなくなることで子どもが不安になってはいけない。子どもにとっていい思い出を残してあげたい、ということと、（教育長に内定した）山崎さんの瀬戸内市の教育に対する強い思いを伺って、妥協するより、最も適任な人をお願いしたいと考えて、4 月まで待つ結論にした。教育行政は教育長一人ではできない。組織として教育委員会があり、今は職務代理者がいる。教育委員長もいる。また地域には教育界の素晴らしい方々がいる。みんなで力をあわせて教育長が不在の間を補っていけると思っている。また、なるべく新教育長とも情報交換を行い、新年度から着実に教育行政を展開できるようにしたい。

- ・一時的でも教育長が不在であることは不安がある。地元の集会で「幼稚園の先生が昨年度まで園長、主任、助手の 3 人だったのが、園長を小学校の校長が代理でやることになり、助手が休むことが多くなったため、ほとんど一人でやっている。」という話を聞いた。遠足など安全管理の面で厳しいところが

ある。対策を考えてほしい。

(市長) この話に限らず、それぞれの学校・園にはいろいろな問題がある。牛窓北幼稚園の話は、教育長がいないことが直接の原因とは思わないが、早急に対策を考えたい。

- ・ ゴミ処理について、今あるものを利用すべきと思うが、公害の起きないようにしてほしい。また、道州制など広域行政が議論されている中、ゴミ処理以外の行政をどのように考えているか。

(市長) 長船のゴミも含めた処理を行うにはクリーンセンターかもめの運転時間を長くすることが必要と考えている。ダイオキシン対策に加えて、長時間の運転でも事故が起らないように炉壁の修理など必要な修繕を行わなくてはならない。また運転時間を延長することや長船のゴミを搬入するため、パッカー車の往来が数十台までは行かないと思うが、増えることが予想される。環境アセスメントを行い、公害が起らないよう取り組みたい。具体的な内容ができたならまた話をしたい。

ゴミ処理は目に見えるところで、自区内処理が基本だと考えている。その方がゴミの減量化の意識も高まると思っている。ただし、水道や消防など、広域で連携することが必要だと思っている。例えば、布浜や備前市の新庄などで救急車が必要な場合、それぞれ備前市、長船の救急車が行った方が早い。協力し合える形を考えていきたい。岡山市とくつつくことだけが広域行政とは思っていない。

- ・ 広域組合からの脱退はよい判断だと思う。南北道も多くの住民が希望していないと思うので、やめるつもりはないか。
- ・ 農免道ができて、道路沿いの農地が耕作放棄された現状がある。南北道も同じようなことにならないようにしてほしい。

(市長) 既に用地を全て購入しており、今止めたら進めるよりも損失が大きい。今は南北道をどう生かすか、を考えている。

- ・ 広報で「戦略会議」というものをやるという記事を読んだ。どのようなことをやるのか。錦海の問題も取り上げるのか。

(市長) 戦略会議は民主党の真似ではない。部単位、課単位の隙間にある問題はこれまでなかなか手がつけられておらず、取り組まねばならないと考えている。部局をまたいで緊急的な課題について今年度、5つのテーマを選び、取り組むことにしている。

錦海の問題も重要なテーマとして戦略会議で取り上げる。錦海は税収が絡

むので税務、堤防は建設、生態は農林、市民生活、教育といったように、それぞれの部署が連携し、外部の専門家や市民を交えて対策に取り組むこととしている。すぐには結果が出ないかもしれないが、理解をしていただきたい。

- ・ 学校の校庭の芝生化に向けて発起人会を作って活動をしている。初期投資、維持管理とも安くなる方法を考えているが、市の施設なので市の許可と支援が必要と感じている。今後、実現のために地域としてどうしていけばよいだろうか。

(市長) 芝生化は海外や都内の学校でも多くなっている。今までの芝生化の問題は管理の手間と費用がかかることと養生期間が必要なため、その期間子どもが遊べないことだった。今は鳥取方式など養生期間が不要なものが出てきており、状況が変わってきている。管理の手間については、先生にとって負担にならないよう、地域やPTAと学校を支える組織づくりをしていくこと、そのためには地域やPTAに「芝のある空間」の必要性を共有してもらうことが必要と思う。市としては管理の支援体制があれば補助事業など投資に有利な方法を考えることができると思う。先生が「芝生ができてよかった」と思えば他の学校に波及していくのでぜひがんばってほしい。

- ・ 市のイベント補助金がカットされた。イベントは瀬戸内市の文化を市民に知ってもらい、また市外に発信する場であると思う。観光も産業の一つ。今後どのように支援していく考えがあるのか。地域経済への効果もあるだろうかから何とか続けられるようにしてほしい。

(市長) 本来、補助金は100万のカネを300万、400万の価値にするものである。補助金ありきではなく、地域の力や知恵を出してもらえる仕組みを今年1年かけて考えまとめる。例えば、提案を受けて、支援方法を協議し、この事業は補助金、この事業は・・・としていくことも考えられる。決してイベントを軽く見ているわけではない。

- ・ 30年後のまちも地元で働く場があってこそだと思う。かつて牛窓に来てくれた企業はほとんどいなくなった。企業誘致をしてほしい。

(市長) どこの市町村も企業誘致をがんばっている。今瀬戸内市には豆田の工業団地の区画が残っていて、そこを売らないと他の土地への誘致は難しい。企業との情報交換なども行って、誘致を行っていきたい。また、地元の事業者を大切にして、事業拡大をしていただくことも大切だと思う。営利だけではなく、地域のために働くNPOなど、新しい働き場の整備も取り組みたい。5年程度では難しいが、できるところからやっていきたい。

- ・ **いい総合病院がほしい。質が大事。現在は岡山の病院に行く人が多い。**

(市長) 岡山に近い人は市民病院はいらないう。また、70歳を境に地元の病院に行くという人もいる。

今の市民病院は耐震化ができていないうえ、今の建物に耐震化を施すのも難しいので、市民病院を残すとなると建替えるしかない。また、今までのように市が作って市が運営するのがよいか、民間の病院に来てもらうのがよいか、ということも考える必要がある。合併特例債が使える平成26年までに結論を出さなくてはならない。

これまでのタウンミーティングではちょっと具合の悪いときのための救急と入院の機能がほしいという意見が多かった。ハコモノありきではなく、必要なサービスのためのハコのあり方を考えるため、アンケートをやる。この意見を踏まえて市民病院、また瀬戸内市の医療サービスについて方向性を出す。